

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(耐震評価:原子炉本体基礎の復元力特性)

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	設置変更許可審査からの申送り事項 No.24【E-4】	設置基準 条文 4条	耐震設計(原子炉本体基礎の復元力特性)	-	詳細設計段階において、RPVの水位及び燃料状態は炉心損傷や冷却材喪失は考慮せず、DBA時と同条件とし、PCV水位は有効性評価における水位が最大となるケースを包絡するように設定したうえで、重大事故時の地震応答解析モデルによる評価を行う。	有効性評価を踏まえた重大事故時の地震応答解析モデルによる評価結果を説明します。	補足620-3 原子炉建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料	今回回答	
2	設置変更許可審査からの申送り事項 No.25【E-4】	設置基準 条文 4条	耐震設計(原子炉本体基礎の復元力特性)	-	RPVペDESTALの内部に充填されたコンクリートについて、建屋側と同様に初期剛性低下を考慮した地震応答解析を行い、影響を確認して設計に反映する。	RPVペDESTALの内部コンクリートの剛性を低下させたケース(ケース7)について、地震応答解析を実施し、設計条件として考慮しています。	O2-工-B-02-0006 改0 VI-2-3-2 炉心, 原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉本体の基礎の地震応答計算書 VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針 VI-2 耐震性に関する説明書	2021/1/15 回答済	
3	設置変更許可審査からの申送り事項 No.26【E-4】	設置基準 条文 4条	耐震設計(原子炉本体基礎の復元力特性)	-	詳細設計段階において、ペDESTAL内部のコンクリート実強度に対する影響についても確認する。	RPVペDESTALの内部コンクリート強度を実強度としたケースの地震応答解析を実施し、影響がないことを確認しました。	O2-補-E-03-0600-8-3 改0 補足-600-8-3 建屋-機器連成解析モデルにおける原子炉本体の基礎の非線形復元力特性等の設定に関する補足説明資料	今回回答	
4	設置変更許可審査からの申送り事項 No.27【E-4】	設置基準 条文 4条	耐震設計(原子炉本体基礎の復元力特性)	-	詳細設計段階において、有効性評価における原子炉建屋内の温度分布を踏まえ、原子炉建屋のコンクリート部材の剛性を低下させ評価する。	No.1と合わせて回答します。	補足620-3 原子炉建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料	今回回答	
5	設置変更許可審査からの申送り事項 No.28【2-6】	設置基準 条文 4条	耐震設計(基本方針)	-	乾燥収縮及び地震影響によるひび割れを踏まえた機器・配管系の耐震評価について、詳細設計段階で説明する。	乾燥収縮及び地震影響によるひび割れを踏まえた建屋モデルによる応答を用いて機器・配管系の耐震評価に用いる設計用地震力を設定し、各設備の耐震計算書に適用しています。	O2-工-B-02-0006 改0 VI-2-3-2 炉心, 原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉本体の基礎の地震応答計算書 VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針 VI-2 耐震性に関する説明書	2021/1/15 回答済	
6	設置変更許可審査からの申送り事項 No.29【E-5】	設置基準 条文 4条	耐震設計(基本方針)	-	機器・配管系の設計用地震力の設定に当たっては、建屋、地盤物性及び原子炉本体基礎の物性をパラメータとして不確かさケースを検討する。	基本ケース(ケース1)に加え、建屋、地盤物性を考慮したケース(ケース2~6)、原子炉本体の基礎の物性を変更したケース(ケース7)を不確かさケースとして考慮し、設計用地震力を設定しています。	O2-工-B-02-0006 改0 VI-2-3-2 炉心, 原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉本体の基礎の地震応答計算書 VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針 VI-2 耐震性に関する説明書	2021/1/15 回答済	